

会議出席報告

以下のとおり報告いたします。

社会教育グループ 主査 石丸 学

日時・場所	令和7年10月17日(金) 18時30分～19時55分 早来公民館会議室1
会 議 名	令和7年度第3回スポーツ推進委員会議
◆委員出席者…伊藤、小坂、石塚、鳥實、榛〔5名〕 ◆委員欠席者…立浪、荒木、石井、宮崎、瀬田川、且見、黒木〔7名〕 ◆教委出席者…石丸〔1名〕 1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議 題 (1) 終了した社会体育事業及び関連事業について 町民ラジオ体操会について、早来地区は実施せず、追分の方はお祭りに合わせる形で8月16日に実施された。なお、今年度をもって安平町体づくり推進協議会は解散予定。来年度以降については、盆フェスの方で事業を引き継ぎ、今年度のようにお祭り当日に追分地区のみで実施していく予定。 町民登山について、9月13日にイチャンコッパ山で実施予定とし、キャンセル待ちが出るほどの参加者(21名の申込み)となったが、近頃の熊害事件を鑑みて中止となった。町として今後も登山事業を行っていくことについて、難しさを感じている。来年度以降の事業のあり方について協議したい。 →町としてそもそもの登山実施についてハードルとの話だが近隣市町村でも自治体主催で登山を実施(長沼町は今年実施)している。ただ熊の件は来年度以降も続くと思われるので、町事業としての当面中止は仕方ないと思う。一方で体育協会主催の林間マラソン大会もコロナを期に中止が続いて、結局事業自体が無くなってしまった。このまま事業廃止してしまうと復活が難しくなる。今回の参加者数を見るに登山に対するニーズもある。熊の件が落ち着くまで暫くは事業見送りとし、いつでも再開するつもりで考えておいた方が良い。そして、町民がスポーツに触れる機会を大事にしていかなければならない。来年度については、登山の代替事業を考える必要がある。 登山は安易に事業廃止とはせずに今後の再会を視野に置いておく。登山の代替事業については、委員の皆様もいる今のうちに素案を出しておきたい。予算は仮でつけておくこともできるが、内容については来年度になってから考えていては、動き出しが遅くなってしまう。 →協議の結果、支笏湖でSUP(スタンドアップパドルボート)体験を事業案とすることで決定。10名づつ交代の体験実施で町民登山同様に20名受け入れが可能。予算としては、駐車場代とSUP関連のレンタル料が必要。講師は榛委員の方で実施可能。ボードは榛委員の方で所属している団体のものを5セット程度用意できるので、残る5セット分くらいのレンタル料(5,000円程度×5セット)で予算を見ておけばよい。 胆振東部3町スポーツ推進委員交流会について、参加した伊藤委員長の方から情報共有。今回の厚真での交流会は、商工会の方で主催しているモルック大会に推進員が参加する形式であった。推進委員に限らない場であったので、非常にたくさんの人数が集まっていた。昨年の安平町での交流会実施の際、参加人数が少なかったのが、今後安平町の番が回ってきた時に今回の厚真のように何か他の団体の事業に乗っかるというのも良い手かもしれない。人数が多ければ色々なことが出来る。 (2) 今後の社会体育事業及び関連事業について 胆振管内スポーツ推進委員研修会について、伊藤委員長、小坂委員、石丸で参加予定。安平町の事例発表の年となっており、事業部長である小坂委員の方で資料を作成中。当日は洞爺湖町、安平町の順で発表。小坂委員の発表中は安平町の全員で前に出る。質問の際には、内容によっては小坂委員に限らず、委員長や教育委員会(石丸)で対応。 →作成中の発表内容としては、温暖化で冬季スポーツが中々出来ないことや施設そのものの存続が危ぶまれていること、部活動の地域展開のことなどにも触れながら、推進委員で実施している子どもチャレンジ塾の事業紹介をしようと考えている。	

そのほか、管内研修会では石井委員が管内表彰される予定だが、本人は当日欠席のため、表彰物については委員長に代わりに受け取っていただきたい。また後日、本人に表彰物を渡すのは、この会議の場で委員長からで良いか。

→当日の代理受け取り了承。本人に渡すのについては、教育長に会議に出席してもらい、教育長から渡して貰う方が良い。もし石井委員本人の都合がつかず会議に出られないのであれば、別日で教育長室などに石井委員に来て貰い、そこで教育長から渡して貰う方が良い。

そのほか、今後の事業については、事務局で事前に把握している各種行事や出席委員の都合等も聞き、以下の通りで仮決定。体育館やアイスアリーナの施設予約については、候補日の段階で事務局の方で仮押さえを実施する。

◆屋内子どもチャレンジ塾

*日時：12月13日or20日 9時～11時頃まで

*会場：早来公民館体育館

*内容：大運動会（大縄跳びや綱引き等、詳細は参加人数の見込みが立ってから決定）

◆子どもチャレンジ塾

*日時：2月7日or14日 午前中

*会場：スポーツセンターアイスアリーナ

*内容：アイスゲット

◆アイスゲット大会

*日時：3月7日or8日 午前中

*会場：スポーツセンターアイスアリーナ

*内容：アイスゲット

直近の屋内子どもチャレンジ塾について、まず委員に対して候補日で参加可能か確認し、参加者が多い方で日にちを正式決定。決まり次第ジュニアリーダーへの声かけと開催について参加締切を11月末頃にして周知する。周知はPipit（校務支援システム）を利用し、教育委員会から直接保護者へ実施。実施内容の詳細は時期的に会議ではもう決められないので、参加人数のある程度の見込みが立ち次第、事務局から伊藤委員長へ確認し決定する。

2月の方の子どもチャレンジ塾については、子連との共同開催なので、候補日で子連側に打診し、最終決定する。また、このときに3月の大会についても案内し、そちらへの参加促進を図る。

アイスゲット大会については、今回が30回目の記念大会となる。賞品を豪華にするとか、参加賞を設けるなどしたいところ。また、昨年度は周知の仕方の問題もあってか参加者が非常に少なく、子どもの部も開催出来なかった。今回はそのような事にならないようにしたい。

→周知については、事務局の方で様々な媒体を使いながら早めに実施し、参加者増加に繋げたい。そのためにもまずは開催日を早く決めたいところ。また、昨年度は子どもの部として参加が期待できるギャロップアイスホッケー少年団の子たちの遠征日と被ってしまっていたのも要因と思われる。本日決まった候補日について、ギャロップ少年団の方に事業被りがないかまずは聞いてみたい。

※後日、アイスゲット大会について、子どもの部として参加が期待できるギャロップアイスホッケー少年団の子たちだが、3月7～8日は行事が入っていることを確認。そのため候補日として3月14日、15日も入れ、施設も仮予約。（14日は町内のこども園の卒園式があるため15日がベストか）

（3）出前講座について

早来学園に確認したところ、昨年度に引き続き今年度もアイスゲットを授業で実施したいとのこと。授業時期は2月頃の予定。この出前講座について、今年度も推進委員の皆さまにご協力いただきたい。

希望日等の具体的連絡が学園から教育委員会にあり次第、皆さまに共有する。

（４）その他

委員長からの提案事項→推進委員への会議開催などの連絡方法が今年度から個人的な LINE から教育委員会 Slack に変更となったが、システム上既読などが確認できず、開催案内について各委員が見ているのか見ていないのか分からない。また、出席率も思わしくない。少ない参加者で物事を決めることについてもどうかと思う。参加者少ない場合は開催日を再調整するなど必要。いずれにしてもこの件について事務局として対策が必要と考える。

→開催日は年度当初の会議で確認をとり年間のスケジュールとして事前に案内している。そして通知には欠席する場合は連絡欲しい旨を記載しており、第2回の開催連絡の際は、その旨を Slack でコメントまでしたが特に連絡のないまま欠席の委員が多い。かといってLINEに戻すことは出来ない。教育委員会としては、公共のやり取りは個人連絡をせずに公共アカウントのある Slack を使うよう言われている。また、既読スルーとなれば結局同じ事となる。今後は、会議開催日が近づいても連絡が無い委員には事務局から直接連絡をとり確認する。また、5人以上の出席をひとつの目安とし、出席人数があまりにも少ない場合は、委員長に相談し、場合によっては開催日を再調整するようにする。

■ 次回の会議予定

〔日時〕 12月19日（金）18:30～

〔会場〕 追分公民館第1研修室A・B

終了 [19:55]